

『もし本当なら知りたい』 ヨハネの福音書 6章41～51節 2017.9.10(聖日礼拝説教より)

『…だれであれ、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。』

マタイの福音書 7章 8節

私たちは聖書が本当だと、どのように確認できる？

❶この世に聞く？神に聞く？(41～45節)…当時のユダヤ人たちは、「どう見てもイエスは普通の人間だ」と眩き、当時の異端は、神の御子と人間イエスを完全に分離！ヨハネはイエスの生涯を伝え、イエスが神の子キリストであり、彼を信じていのちを得ると論証した(ヨハネ 20:31)！世の人々がイエスを神と信じないのは、世の常識や人の意見で固定観念を持つから(42節)！そこで道は2つに分かれる！①聖書って嘘ばかり！宗教も洗脳も恐い！…で終わるか、②完全に疑い、信じる気もないが、「もし本当なら知りたい」と問うか！イエスは言う『…神によって教えられ、父から聞いて学ぶ者はみな、わたしのところに来る(45節)！』神に問う人だけが本当のことを知る！この世が、本当の神様を知ることがないのは、『求めない』からである！

❷神に導かれる(44～51節)…神は、「自分で見つけろ」と言われない(マタイ 7:7)！心から求める者に、「本当に神はおられた！」と気づかせてくださる。神様が、そうしなければならぬほど、私たちの霊的能力(神とのコミュニケーション能力)は壊れている！44節『わたしを遣わした父が引き寄せられないかぎり、だれもわたしのところに来ることはできません！』『引き寄せる』とは、「重いものを必死に引っ張る」の意。神に眩き、疑い、信じようしない私たちを御許に引き寄せようとなさるのが神の憐れみ！◆ある人が、『自分は何のために生きるのか？本当に神がいるなら教えてくれ！』と本気で問うた時、神は、天国(究極のゴール)を指し示し、生き方を教えられた(マタイ 25:34、40)。以来40年間、その人は語りかけられた通りの人生を歩み続けている！現実だけを見て、『祈っても何も変わらない！神は見えない！御声も聞こえない！』と思っても、「もし本当なら知りたい！」と求める人に、必ず答えをくださる！「求め・捜し・叩く」は、全て「現在形」！「求め続け、捜し続け、叩き続けよ」…諦めず！根気強く！との励まし！エレミヤ 33:3『わたしを呼べ。そうすれば、わたしは、あなたに答え、あなたの知らない、理解を越えた大いなる事を、あなたに告げよう。』

★私たちが、探し求め、救いの門を叩く前に、父なる神ご自身が私たちに呼びかけ、真実と救いを求める心を与えられる！今朝、「もし本当なら知りたい！」と、素直な心で神に問うてみよう！